

工学部ホームページの再構築

工学部機械知能システム工学科

西野精一

1. はじめに

工学部電子広報委員会では中期目標・中期計画に掲げられている、「情報の迅速な公開」、「教育・研究コンテンツの公開を目的とした工学部ホームページの充実」、「シラバス公開」を目的とした工学部ホームページ再構築を行った。ここでは、新しい工学部ホームページの再構築について紹介する。

2. これまでのホームページの問題点

これまでの工学部ホームページを図1に示す。電子広報委員会では再構築に当たりこれまでのホームページの問題点や課題について議論した。挙げられた課題や問題点を下記に示す。

- (a) ホームページ更新・修正は手作業（HTMLファイルを直接操作）によるものであるため、更新・修正に専門知識を要する。
- (b) 画像データを中心としているため新たな項目の追加が困難である。
- (c) シラバスの掲載ページがない。掲載した場合にも、上述の理由からシラバスへのリンクボタンを増設できない。
- (d) 理工学研究科博士前期課程、後期課程のページがない。
- (e) 日本技術者教育認定機構（JABEE）に対応した項目の増設が困難

3. ホームページ再構築の方針

これまでのホームページの問題点を解決し、中期目標・中期計画に対応するためホームページ再構築の方針を下記のように設定した。

- (a) 管理ツール構築により、専門知識がない管理者でも「お知らせ」等の情報を容易に掲載・削除できるシステムを構築する。
- (b) 管理ツール構築により、学外用、在学生用、教職員用を選択して情報掲載ができるようにす

る。

- (c) 「理工学研究科博士前期課程」、「後期課程」のページを作成する。
- (d) 「シラバス」、「工学部紀要」のページを作成する。
- (e) メニュー項目、ボタンを容易に追加できるようにし、情報公開に柔軟に対応できるようにする。
- (f) 事務等に提出する各種申請書等の書式を掲載しダウンロード可能とする。
- (g) 「受験生」「企業」「在校生」「教職員」等対象を明確にしたメニューを設け、閲覧者の利便性を図る。

4. ホームページの再構築

上記方針に基づき次の内容を分担して再構築作業を進めた。

- (1) 工学部、理工学研究科ホームページに掲載する内容のツリー図作成
- (2) ホームページデザインの検討
- (3) 管理ツールの構築
- (4) 掲載内容の収集、入力



図1 これまでの工学部ホームページ

5. 再構築したホームページの紹介

図2に再構築した工学部ホームページのトップページレイアウトを示す。トップページは「メニューエリア」、「ニュースお知らせエリア」、「研究紹介エリア」で構成されている。メニューには対象別の項目も設けた。また、全てのメニューはテキストベースとし追加・削除が容易に可能となっている。

ニュースお知らせエリアには図3に示す管理ページで入力された掲載期間に基づいてニュースお知らせが表示される。

「研究紹介エリア」には工学部で行われている研究の最新情報が月に2回の頻度で掲載・更新される。この、研究紹介欄は従来のホームページからの継続であり、ここに掲載された内容はデータベースに蓄積される。

また、本ホームページは多言語対応となっており、右上部の「言語選択」ボタンにより「日本語」「英語」「中国語」等の選択が可能となっている。

右上部の「マイ EPIC」では工学部教職員個人毎のIDとパスワードを入力することにより、名簿情報等の個人情報の編集を各自が行えらるとともに、グループウェアの利用により工学部規則、委員会議事録等の閲覧が可能となる。

図4に各学科ページ内の講座・研究室紹介ページの例を示す。本ページには各講座の簡単な紹介文と画像並びに担当が掲載され、名簿ボタンにより詳細情報とWebメールによる連絡が可能となっている。また、研究紹介ボタンをクリックすることによりトップページの研究紹介エリアに掲載した各研究室の研究内容がデータベースから呼び出され表示される。

再構築したホームページの特徴をまとめると下記となる。

- (1) 全ての内容は管理ツールを利用し簡便に入力可能。
- (2) 管理ツールで入力した全ての情報並びにユーザ管理情報はデータベースで管理・保管される。
- (3) 「日本語」「英語」「中国語」「韓国語」の入力表示が可能



図2 再構築した工学部トップページ

ニュース・アナウンス管理

ニュース・アナウンス原稿一覧

ID	Select	開始日	終了日	種別	投稿者	登録日
22	<input checked="" type="checkbox"/>	2003-12-22				

ニュース・お知らせリスト

ニュース・アナウンス原稿登録/修正

投稿者:	電子広報委員会
種別:	<input type="radio"/> アナウンス <input checked="" type="radio"/> ニュース
掲載期間:	掲載開始日: 2003年12月22日 掲載終了日: 2003年12月31日
掲載先:	<input checked="" type="checkbox"/> 入学希望者 <input checked="" type="checkbox"/> 企業の新卒 <input checked="" type="checkbox"/> 在学生 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業生の皆様 <input checked="" type="checkbox"/> 教職員 トップページに掲載する場合は「電子広報委員会」の承認が必要です。
掲載先:	<input type="checkbox"/> 電気電子システム工学部 <input type="checkbox"/> 機械工学部 <input type="checkbox"/> 化学工学部 <input type="checkbox"/> 情報工学部 <input type="checkbox"/> 環境工学部 <input type="checkbox"/> 建築工学部 <input type="checkbox"/> 土木工学部 <input type="checkbox"/> 応用化学工学部 <input type="checkbox"/> システム工学部 <input type="checkbox"/> 応用物理工学部 <input type="checkbox"/> 応用生物工学部 <input type="checkbox"/> 応用化学工学部 <input type="checkbox"/> 応用物理工学部 <input type="checkbox"/> 応用生物工学部
掲載目:	English: <input type="text"/> Japanese: <input type="text"/> Chinese: <input type="text"/> Korean: <input type="text"/>
掲載内容:	<input type="text"/>

図3 ニュース・お知らせ管理ページ

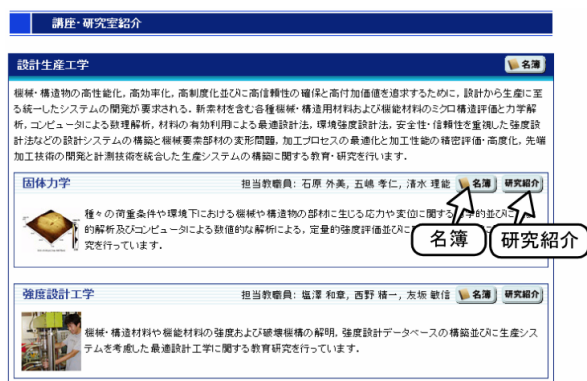


図4 講座・研究室紹介のページ

- (4) 「ニュース・お知らせ」を掲載期間、掲載ページを指定して入力可能.
- (5) Webmail を利用することにより各教官のメールアドレスを公開せずに連絡が可能.
- (6) 研究紹介データの掲載により研究室の研究内容をわかりやすく表示.
- (7) 各個人の情報は各自が入力・修正可能.
- (8) 工学部のグループウェアなどを利用できるページを準備し、会議室予約や工学内規等の学内情報の閲覧が可能.

6. おわりに

大学・学部にとってホームページは迅速に情報を発信公開する上で今後ますます重要な役割を果たすと考えられる. 特に工学部で取り組んでいる日本技術者教育認定機構 (JABEE) による認証を受ける場合、学習目標、教育環境、教育改善の取り組み、アンケート結果等様々な情報を公開

することが要求されており、ホームページの充実が重要とされている. 今回の再構築は、富山大学工学部を志望する受験生、共同研究を行う企業の研究者、卒業生、だけでなく在学生や学内の教職員にとっても利便性の高いページを作成できたものと考えている.

一度、今回紹介した工学部ホームページ (<http://epic.eng.toyama-u.ac.jp/>) をご覧いただき、感想等を工学部電子広報委員会に連絡いただければ幸いである.

最後に、今回のホームページ再構築は、電気電子システム工学科電子デバイス工学講座喜久田寿郎先生に多大な協力によるものである. ここに深く感謝の意を表す. また、各言語への翻訳並びにデータ入力作業には学内の技術補佐員並びに留学生の皆さんに協力いただいた. 記して謝意を表す.